

Investment Commentary

(米国市場に関するコメント)

August 9, 2010

ご参考資料

BLACKROCK

先週の株式市場は続伸し、先週1週間でダウ工業株30種平均は1.8%上昇の10,653ドル、S&P500種株価指数は1.8%上昇の1,121ポイント、ナスダック総合株価指数は1.5%上昇の2,288ポイントでそれぞれ引けました。この上昇を受け、米国株式は7月初旬の底値からほぼ10%値上がりました。

過去数週間の株価は引き続き好調な企業収益に支えられています。第2四半期の決算が次々と発表されており、今四半期の決算は過去数年において最も堅固なもののひとつで、75%近くの企業が予想を上回っています。2010年後半のアナリスト予想も上方修正されていますが、2011年の予想は若干弱まっています。おそらく、当初の予想が強すぎたためでしょう。

経済の面では、先週発表された中で最も重要な指標は7月の雇用統計でした。非農業部門雇用者数は予想より悪化し、主に国勢調査の臨時職員が縮小したことが原因で、雇用は減少しました。更に、民間部門の雇用は7.1万人増となり、予想を下回りました。失業率は9.5%で横ばいとなりました。一方で、指標には明るい面もありました。労働時間や時間当たり賃金は両方とも増加しており、これは将来的に前向きな兆しです。全体として、雇用統計は強気派にも弱気派にも材料を提供したものと我々は評価しています。

最近のその他の経済指標では、個人貯蓄率は過去数年間で上昇しています。消費者が節約志向を高める中で、所得に占める支払利子の割合は過去2年間で2%近く低下しています。全体的な負債は高水準にとどまっていますが、支払利子のデータは好ましい傾向を示しています。また先週のニュースでは、財務長官のティモシー・ガイトナーによる声明において、オバマ政権が株式譲渡益や配当にかかる税率を20%に引き上げるという意向が表明されました。(2003年の減税措置が期限切れとなる)年末に近づくにつれ、課税方針に対する議論が本格化することを予想します。

全体的に、米国とグローバルの経済指標を見ると、引き続き経済成長がここ数ヶ月で減速していることが確認できます。例えば、米国と中国の7月の購買担当者景況指数は景気の勢いに陰りが見られることを示しています。とはいうものの、最近の市場の反応を見る限り、市場参加者の間ではこのところの弱い指標を気にかける様子は見られず、景気回復が継続すると想定している向きが比較的多いのではないかと思います。

株式市場の改善に加え、工業用の商品価格は6月初旬からほぼ15%上昇しました。商品価格が上昇していることを踏まえると、中国経済が崩壊しているといった見方や、あるいは米国と他の先進国が景気の二番底に向かっていているという予測に同調することは困難であると我々は考えます。我々の見解では、最近の経済指標が軟調になっていることは回復のペースが減速しているのであり、経済がリセッションに向かっていている兆候ではないと考えています。

我々の慎重ながらも楽観的な見通しには多くのリスクが伴っており、例えば住宅市場が本格的な回復を遂げていないことや、消費者のレバレッジの解消が引き続き必要であること、そして多くの市場における緊縮財政に向けた動きなどが挙げられます。こうした要因(追加的な外的ショックのリスクが常に存在することに加えて)はどれも景気回復を妨げる恐れがあります。しかしながら、我々はそうしたシナリオが実現する可能性は低いと想定しています。リスクが顕在化する事例として、もし今後企業業績が鈍化するサインを示すとすれば、我々は景気が二番底に陥る可能性を懸念しますが、現在のところそのような兆候は見られません。

今後の見通しとして、我々が度々言及しているように、経済がリセッションに陥らないことを前提に、株式市場は長期的に上昇傾向の状態が続く可能性を想定しています。仮に2%程度の経済成長であれば企業業績は十分な成長を遂げられる余地が大きいのではないかと考えます。そうした状況に加えて、株価のバリュエーションが今もなお魅力的なことを踏まえると、株式市場の環境は、比較的良好と言えると思います。



Bob Doll
ボブ・ドール

ボブ・ドールは、ブラックロックの副会長兼ファンダメンタル株式チーフ・ストラテジストです。ドールは、ブラックロック大型株シリーズ・ファンドのシニア・ポートフォリオマネジャーです。ドールは、2006年にブラックロックとメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズが統合する前は、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズの社長兼最高運用責任者でした。ブラックロック・グループの2010年3月末時点の運用資産残高は3.36兆ドルです。

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。当資料は、ブラックロック Inc. が作成した資料をブラックロック・ジャパン株式会社が翻訳したものです。

S&P500はThe McGraw-Hill Companies, Inc.の登録商標です。

NASDAQはNASDAQ Stock Market, Inc.の登録商標です。

ウェブサイト www.blackrock.co.jp